

お花・葉のグループ分けについて

花には色々な形があります。

茎が長くてラインが特徴的なもの、花びらが多くて丸いものなどさまざまな種類があります。

フラワーアレンジメントではそのような花の特徴をとらえてアレンジを制作することで各花の良さを生かした魅力的な作品を作ることができます。

花・葉は形によって分類がされています

この分類を意識するとアレンジの構成がしやすくなり、全体のバランスを整えることに繋がります。

花の形に関する知識はフラワーアレンジメントを作るために必要不可欠な知識です。

アレンジのメインとなる花を「フォーカルポイント」と呼びます。

特徴

花、葉はその形態によって4つに分類されています。

それぞれ「ラインフラワー」「マスフラワー」「フォームフラワー」「フィラーフラワー」と呼ばれています。

その特徴について説明いたします。

ラインフラワー

ラインフラワーは長い茎に花が咲くタイプの花です。

アレンジの高さや幅を決めたり、アウトラインを決めたりする際に使います。

また、線を生かすだけでなく、縦にお花がついているデンファレなどは切り分けて使用することもできます。

【例】

花：スイートピー、ストック、フリージア、キンギョソウ、デルフィニウム

葉：ベアグラス、ミスカンサス、フトイなど

フォームフラワー

フォームフラワーは花びらが1枚でも欠けると形が変わってしまう特徴的な形をしている花です。

【例】

花：カトレア、ユリ、カラー、胡蝶蘭

葉：モンステラ、クッカバラ、ゲイラックスなど

マスフラワー

マスフラワーは多数の花びらが集まってできている花を言います。

アレンジのメインとなりうる花です。

【例】

花：バラ、芍薬、ラナンキュラス、カーネーション

葉：レザーファン、レモンリーフ、ドラセナなど

フィラーフラワー

フィラーフラワーは1つの茎から枝分かれした先に小花をたくさんつける花です。

花と花の隙間を埋めてアレンジメントの全体を調和させたり、立体感を出したりする役割として使用します。

【例】

花：かすみ草、ライスフラワー、アルケミラモリス、ブブレイウム

葉：アスパラガス、ピットスポルム、アスパラミリオンなど